



小清水小学校 学校だより

# 羽ばたけ

平成29年12月22日 <第15号>

## 小中合同公開研究会を終えて

小清水小学校長 可児隆洋

12月8日、小学校と中学校合同での公開研究会を実施しました。オホーツク管内で小中一貫教育実施をめざしている小学校や中学校の先生方、東京農大の学生さんも含めた参加者の皆さんに対し、小学校の全学級授業と中学校舎での6年生の特設授業（中学校教師による）を公開しました。公開研参加者の皆さんは、明るく・元気だけど、しっかり落ち着いて授業を受けている子ども達の様子に感心していました。

6年生の特設授業は、「小中一貫した児童生徒理解」や「学習指導のつながり」を意識するために行いました。小学生をどのように指導したらよいのかという中学校の先生方の意識や考え方がよく表された授業で、小学校の先生方も興味深く参観しました。その後の研究協議も小中一貫教育を充実させるための指導とはどのようなものなのかを根底に見据え、実りの多い研究会となりました。

このような小中合同の公開研究会を実施しているのは他に例は多くありません。しかも、年間を通じて学校を行き来しながら先生方で学習内容や指導方法を話し合っているのも小中一貫教育を実施しているのは画期的な取り組みです。

中学校の先生方は、「6年生の理科を教える」という特設授業をするにあたり、「小学生にはどんな言葉を使えば良いのか」、「どのような指示をすれば通るのか」、「どのようなまとめ方が適切なのか」等を全員で研修して授業づくりをしました。一方、小学校の先生方は、日常の授業や生活で小学校6年生段階からスムーズに中学校段階に移行できるよう、中学校的な指導を取り入れようとしています。

このように、中学校は小学生に合わせようと指導し、小学生は中学校に合わせようと指導している状況は、例えて言えば両側からトンネルを掘っている様なものです。さて、このトンネルはどの地点で繋げればよいのでしょうか……。これをしっかり見定めないことには、児童生徒理解をつなぐどころか、中1ギャップの解消にもならず、乗り入れ授業をしても効果が上がらないということになります。

私たちの目的は「小中一貫教育実施」ではありません。小中一貫教育実施で「児童生徒をどのように育てるのか」が目的なのです。今年から始まった小中一貫教育のトンネル工事、どこまで「小学校教育」が担って、どこから「中学校教育」に任せるのかの合流地点を見定める必要に気付かされる公開研究会でした。

日	曜日	行事予定	下校バス		
			14:45 14:50(金)	16:00 16:05(金)	
1	月	元日			
2	火	年始休日			
3	水	年始休日			
4	木				
5	金				
6	土				
7	日		小清水町成人式		
8	月		祝日（成人の日） 小清水町スケート記録会		
9	火		スケート教室 初心者10:00~12:00 初級者18:00~20:00		
10	水				
11	木				
12	金		合同研修/職員会議		
13	土				
14	日	金管アンサンブルコンクール			
15	月	<b>3学期始業式</b>	○	○	
16	火		○	○	
17	水		○	○	
18	木		○	○	
19	金		○	○	
20	土				
21	日				
22	月	6年中学校舎登校日	○	16:10	
23	火	学力検査(国語)	○	16:10	
24	水	学力検査(算数)	○	16:10	
25	木		○	16:10	
26	金	サポートタイム	○	○	
27	土	土曜授業【給食あり】	13:00	×	
28	日	町民スケート大会(初心者種目もあります)9:00~			
29	月		○	○	
30	火	クラブ(3年生見学)	○	○	
31	水	愛の声かけ運動「標語」×切	○	○	

漢字検定の受験者が12/19で46名になりました。学校としても皆さんを応援するために、図書室に漢検問題集を用意しています。ただし、貸出はせず、見るだけとしています。著作権の関係でコピーもできないのでご承知おき下さい。書店はもちろんですが、ネット上でも問題が手に入ります。受験者のみなさんは合格をめざして準備を進めましょう。 ※試験日 2/9(金)

## 地震避難訓練 12/4

災害が起きた時に大切なのは、「速やかに避難すること」です。短時間で避難を完了するためには、しっかり指示を聞き、素早く整列し、安全に移動して、点呼をとらなければなりません。普段から備えをしておくことも大切です。身の回りを整理しておくことも大切です。心構えも備えの一つです。先生方から、靴ひもを縛っていないかったり、かかとを踏んで靴を履いていたりする子は避難ができないという注意もありました。これも普段からの備えです。



避難の指示がでるまで机の下へ



寄贈していただいたずきんをかぶって

## 道徳特別授業(子ども心に響く道徳教育推進事業) 12/9



講師として中田美知子さん(札幌大学客員教授 イオン北海道社外取締役)をお迎えして5・6年生の授業をしていただきました。中田先生は元HBCアナウンサーやFM北海道(AIR-G)のパーソナリティーとして、とても有名な方です。

まずは、母国語を使いこなせるようになって欲しい。良い言葉(新聞や本、テレビやラジオ等)に接することで、場面や人によって言葉を使い分けられるよう言葉の数を増やして欲しいというお話をいただきました。後半は「立ち姿勢」「おじぎ」「自己紹介」について実技も交えて教わりました。



## 小学生・中学生の未来への言葉を 小清水高校開校式へ 12/9

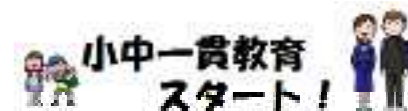
小学生と中学生が取り組んだ、斜里岳を背景に広がるジャガイモ畑に飾られたメッセージです。もっとも目立つところに飾っていただきました。



## 小清水町連合PTA研修会

「子どもたちを取り巻くネット環境の現実と課題」と題して岩井孝弘氏(有限会社イワイ代表取締役)にご講演をいただきました。とにかく怖い話でした。ネット社会の現実を実際に起こった事件を例にして説明していただきました。また聞きたいという声も多く聞こえた講演会でした。

## 中学校の先生が小学校へ乗り入れ授業



岩本先生は理科の先生です。いつもは中学生を教えているのですが、この日から特別に「水溶液」の学習を全て受け持ってもらうことになりました。最初は緊張していた6年生も岩本先生の笑顔と楽しいお話しですぐにうちとけていました。

6年生では、塩酸やアンモニア水などの薬品も使って勉強します。思わず「臭い!」と叫んでしまった子ども達に、

「中学校の理科では『臭い』と言っちゃだめだ『臭いがある』と言おう」

「『臭い』と言った人は成績が下がります!!」。

ユーモアの中にも、しっかりと中学校の理科学的な言葉の使い方を教えられていました。危険な薬品を扱うので、実験の時は椅子を机の下に入れて立って実験すること、話し合いなどは落ち着いて座って考えることなど、すっかり岩本先生の熱心な指導に引き込まれた6年生は、早くも来年の中学校理科に期待を抱いているようです。



## おはなしホエム クリスマス 12/15

おはなしホエムにサンタさんも登場! 「さんびきのこねずみとガラスのほし」という絵本をプレゼントしてもらい、お母さん方と一緒に読み聞かせをしてもらいました。のねずみの3兄弟が、クリスマスの日起こす小さな奇跡に子ども達は夢中になって聞き入っていました。サンタさんもありがとうございました。



## ようこそ小学校へ ようこそたからものランドへ12/12

1年生が自分たちが工夫して作ったおもちゃやゲームで遊んでもらうために、幼稚園・保育所の年長さん達をお招きしました。1年生は参観日に続いての2回目の本番なので、余裕の表情です。

来年入学してくる後輩達に楽しんでもらうために、熱心に説明したり、お手伝いしてあげたりと、すっかりお兄さんとお姉さんの表情でした。

少しでも入学を楽しみにしてもらえたら嬉しいです。

